

Satte International Friendship Association

幸手市国際交流協会だより

2001年 4月

創刊号

編集発行 幸手市国際交流協会 事務局 幸手市総務部企画調整課内
〒340-0192 埼玉県幸手市東4-6-8 TEL 0480(43)1111内線(4401) FAX 0480(43)3783

2000年11月11日(土)
市民まつりにて国際
交流広場を開催しま
した。

写真はその催しの中
の1つワンポイント
外国語会話から。

(詳しくは、2ペー
ジをご覧ください。)



幸手市国際交流協会だより創刊にあたって



幸手市国際交流協会
会長 中村 章一

私達は異文化の相互理解と国際的な友好親善を促進し、国際社会の平和と繁栄に寄与することを目的に幸手市国際交流協会を設立いたしました。

幸手市におきましては、外国人登録者が、この10年で5倍に増加しております。このような状況の中で、私達市民は、外国人と接触する機会を多く作り、お互いの文化や習慣を理解していかなければなりません。そして、日本人、外国人という枠ではなく、同じ人間として尊重しあう社会を築いていくことが私達の願いです。

皆様のご理解と多数の入会を心よりお待ちしております。



幸手市長
増田 実

幸手市国際交流協会の皆様におかれましては、日頃より市民レベルの交流活動などを通し、当市の国際化の進展にご尽力いただき、誠にありがとうございます。国際化・情報化が進展し、市民一人ひとりが国際人としての自覚を持ち生活することが求められている現在、市民と行政が一体となった交流活動の必要性は年々高まっています。

今後更に、当協会を核とし、国際交流推進の主役である市民を主体とした交流活動が、一層進展することをご期待申し上げますとともに、会員各位のご活躍をご祈念申し上げ、『幸手市国際交流協会だより』創刊のごあいさつといたします。

幸手市国際交流協会設立へのあゆみ

- 1998年 7月 地域レベルでの国際化が求められる中、幸手市国際交流懇話会が設立された。
- 1998年 7月～11月 同懇話会による幸手市の国際交流推進のための検討が行われた。
(懇話会開催5回)
- 1998年 11月 幸手市の国際交流に関する提言書が同懇話会から市長に対して提出された。(同提言書の中に市民を主体とした国際交流協会の設立がうたわれていた。)
- 1999年 8月 これを受けた幸手市国際交流協会設立準備委員会を設置。協会の会則や事業などが審議された。
(委員会開催6回)
- 2000年 幸手市国際交流協会が正式に設立された。

幸手市国際交流協会設立趣意書

近年の国際社会の急速な発展に伴い、私達の身の回りにも様々な外国製品が溢れ、併せて日本人の海外渡航の一般化や外国人の訪日・滞在の増加によって、私達が外国人や外国文化と接する機会は確実に増えてきました。

また、世界のあらゆるところで同時にニュースを耳にししたり、個人でも国際電話やインターネットを通じて容易に国際的な情報を入手・交換できるなど、情報の国際化も進行してきており、日常生活の衣食住すべてに世界を身近に感じる、正にボーダレス時代が到来しています。

このような時代の中、幸手市におきましても外国人登録人口が10年間で5倍強に増加し、市民意識調査結果でも市民の国際交流への関心度の高まりをうかがわせております。

こうしたことから、私達は、幸手市として異文化の相互理解と国際的な友好親善を促進し、ひいては国際社会の平和と繁栄に寄与することを目的とし、市民、団体、企業、行政が一体となって活動できる「幸手市国際交流協会」を設立します。

今後、本協会設立の趣旨にご賛同いただき、多くの関心ある方々のご参加とご協力をくださいますようお願いいたします。

2000年度 幸手市国際交流協会

活 動 報 告

2000年5月28日(日)

幸手市国際交流協会設立総会

初夏の風が爽やかな中、アスカル幸手において幸手市国際交流協会設立総会が開催されました。当日は、増田市長をはじめとする来賓や多くの会員の方々に出席していただきました。

設立趣旨及び経過説明の後、役員を選出が行われ、会長に中村章一さんが選ばれました。

また、議事については、協会会則が原案どおり裁決され、事業計画、予算についても原案どおり承認されました。

設立総会終了後は、市内在住の外国人のみなさんを交えて交流会が盛大に行われ、母国語での自己紹介をしていただきましたが、中にはギターを弾きながら歌をご披露していただいた方もあり、参加者からはおしめない拍手が送られました。

また、アトラクションとして国旗当てゲームが行われ、出題された国旗の国名をみごと当てた方には賞品がプレゼントされるなど、楽しい交流会となりました。



「国際社会をめざして」中村会長あいさつ

2000年11月11日(土)

市民まつり国際交流広場

市民まつりの11日(土)の午後、恵まれた天候の中、国際交流広場が開催されました。アトラクションコーナーは、心地好い風を醸し出し異国の雰囲気づくりに一役の幸手市商工会女性部によるフラダンスから始まりました。バンブーダンスは、インドの稲作を表現した竹の音と衣装がとても印象的、体験タイムでは観客の皆さんに農地を耕す

様子を踊っていただきました。続いて、三味線演奏（幸手市民謡連合会）、空手の演武等（極真空手幸手道場）、和太鼓（幸手和太鼓保存会）と日本の力強い伝統文化を披露。テント内では、英語・中国語・タイ語など講師の出身国のワンポイント会話があり、参加者には焼かないで作れるクッキーをプレゼント。癒しのコーナーでは石州流の皆さんの野点を、餃子販売・白目米ピラフ試食も加わりたくさんの方に楽しんでいただきました。交流広場は、言葉の壁を越え・習慣の違いを理解し合おうと願う思いと笑顔があふれていました。

2000年12月3日（日）
中国音楽へのいざない

12月3日（日）に西公民館において「中国音楽へのいざない」と題して、中国楽器「揚琴^{ようきん}」と「二胡^{にこ}」の公演を行ないました。競馬、夜来香などの中国メロディーに、さくら、荒城の月など日本のメロディーも交え、全10曲を演奏しました。日頃私達には馴染みのない楽器でしたが、幻想的で奥行きがあり、それでいてどこか力強さを感じさせる音色に、会場に訪れた聴衆も魅了されました。それぞれの国のメロディーが奏でられるなかで、中国と日本がとても近く感じられたひとときでした。

公演の後、軽食と飲み物による懇親会を行いました。その中で行なったゲームを通して知らない

2001年1月14日（日）
日本のお正月のあそび

年末、年始の行事で目にしますが、自分ではあまり経験できない臼と杵を使っての餅つき、そして、日本に古くからあるお正月のあそびを外国人や子ども達に紹介しようと企画しました。鏡開きも済んだ14日（日）の開催でしたが、お餅の好きな人やあそびを通して交流を楽しみたい人達で賑わいました。開会から一時間余が餅つきタイム。中村会長に教わりながら参加者みんなで作りました。ペタンペタンとリズムカルにいくと思いきや杵が重たくなかなか上手にいきません。でも、自分達でついたお餅は美味しいものです。つきたてのお餅はそのまま、大根下ろしで『からみ餅』、きな粉をまぶして『きな粉餅』、餡でからめたり、餡をつつんで大福のようにして食べたりと。

ゲームタイムでは、緋毛せんにかるたを敷きつ



ステップも軽やかなバンブーダンス



中国音楽へのいざない「二胡」(左)「揚琴」(右)

人同士が身近に感じることができ、楽しいひと時を過ごすことができました。これからも研修部会としていろいろな事を企画していきますので参加の程よろしく願います。



みんなで「餅つき」を体験!!

め『かるたとり』、目隠しで皆の声をたよりにおかめの顔をつくっていく『福笑い』、羽子板でカラフルな羽をつく『羽つき』、そして『輪投げ』各入賞者には賞品が手渡されました。

外国語のよくわからない者同士でも、交流という目的があれば、身振り手振りのボディランゲージと片言だけでも心が通じ合うものでした。

2001年2月25日(日)

楽しいひな祭り会

日本古来の伝統文化であるひな祭りを、外国人の方々にも理解して頂けるように交流部会のメンバーが中心となり多くのボランティアの方々のご協力を得て開催しました。

午前の部では、参加者全員で太巻き寿司と桜餅作り、太巻き寿司は色々な具が用意され、一人ひとりお好みの具材を色とりどりに巻き、オリジナル太巻き寿司を作る楽しみを味わいました。

また、桜餅は淡いピンク色に焼き上げた皮で餡を包み、桜の葉を巻き和菓子づくりを体験しました。そして、出来あがったお寿司と桜餅をひな人形の飾ってある部屋でひな祭りの音楽をバックにいただきました。午後の部では、日本折り紙協会の金杉先生(川口市在住)と、中央公民館の折り



ひな人形上手に出来たかな?

紙教室の生徒さん達のご指導のもと、お内裏様とおひな様を作りました。色紙に貼られた親王飾りは各々表情があり楽しげでした。

今後外国の文化を理解していく事業や、日本の文化を外国人の方々に紹介する事業を通して、友好の輪を広げていきたいと思えます。

会 員 募 集

当協会は国際交流を進め異文化の相互理解と国際的な友好親善を図るため設立した団体です。

趣旨にご賛同いただける方ならどなたでも入会できます。

【入会方法】

申込書(市役所、各公民館などで配付)に必要な事項を記入の上、会費を添えて事務局まで申込み下さい。

【年会費】

個人会費	1口	2,000円
(学生会費)	1口	1,000円
団体会費	1口	5,000円
法人会費	1口	10,000円

愛 称 募 集

当協会では、幸手市国際交流協会だよりの愛称を募集しています。

官製はがきに愛称名、住所、氏名、電話番号を記入の上、事務局へ郵送にてご応募下さい。

○締切り 5月11日(金)(当日消印有効)

幸手市国際交流協会事務局

幸手市役所総務部企画調整課内
〒340-0192 埼玉県幸手市東4-6-8
TEL: 43-1111 (内線4401)
FAX: 43-3783

国際交流協会役員紹介

会 長	中 村 章 一	
副会長	鈴 木 照 仁	宮 城 京 子
理 事	大 塚 辰 男	江 藤 美 知 子
	日 下 部 利 夫	倉 澤 寿 世
	谷 野 隆 彦	船 川 節 子
	関 根 一 郎	峯 下 満 義
	関 本 正 弘	甄 凱
	並 木 敦	河 端 礼 子
	飯 尾 寛 之	鈴 木 啓 子
会 計	折 原 好 伸	前 田 一 郎
監 事	増 田 由 紀 子	白 田 善 次 郎

【専門部会】

総務部会長	鈴 木 照 仁
研修部会長	並 木 敦
交流部会長	倉 澤 寿 世

編 集 後 記

おかげさまで、協会も設立してまもなく1年になります。

さまざまな行事を通して、会員のみなさん達の絆も深まり、日に日に協会の活動も活発になってきたように感じています。

今後、ますます幸手市の国際交流が発展することを願って創刊号をお届けします。